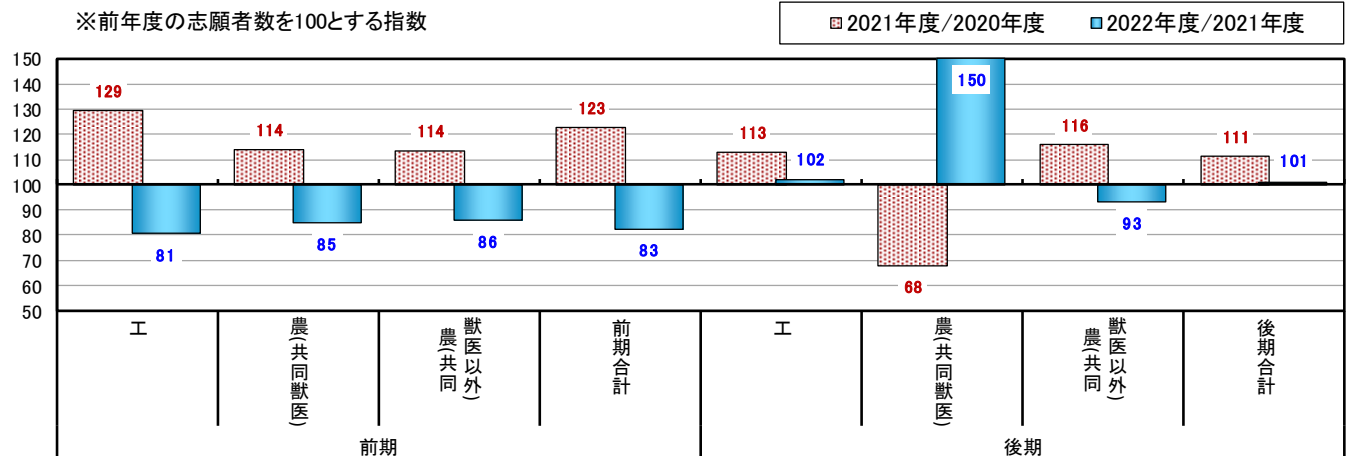


東京農工大：前期は大幅減少、後期は微増だが2年連続増加 前期：-261人 後期：+24人


主な入試変更点 募集人員：工(機械システム工)…<前>55人→52人
工(生命工)…<前>46人→42人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅増加の反動で261人(83)の大幅減少、募集人員は7人の微減だが、志願倍率は3.1倍→2.6倍にダウン。後期は共通テストの平均点ダウンの影響による前期上位大学志願者の併願先として狙われたため、前年度増加の反動はなく24人(101)の微増で、2年連続増加。

<前期日程>

- 工(81)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、6学科全てが減少で、そのうち4学科は大幅減少。(化学物理工)(65)は前年度激増の反動で大幅減少、(応用化)(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(知能情報システム工)(78)も大幅減少で、2019年度の改組以降大幅増加が連続したが初の減少。(生命工)(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、募集人員も4人減少だが、志願倍率は3.6倍→3.2倍へダウン。
- 農(共同獣医)(85)は、大幅減少。2019年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 農(共同獣医以外)(86)は、共通テストの平均点ダウンの影響と前年度増加の反動で減少。2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、4学科全てが減少。(環境資源科学)(79)、前年度唯一減少だった(生物生産)(87)は減少で、2年連続減少。(地域生態システム)(88)、(応用生物科学)(89)も減少。

<後期日程>

- 工(102)は、微増だが3年連続増加。学科別では、6学科中増減が3学科ずつ。(知能情報システム工)(125)は系統への高い人気もあり大幅増加、志願倍率も6.5倍→8.1倍へアップ。志願者数は2019年度の学科改組後初めて300人を上回った。(生体医用システム工)(117)は、2019年度の学科改組以降3年連続大幅増加、(化学物理工)(110)は増加で2年連続増加。一方で、(生命工)(86)は前年度大幅増加の反動で減少、(機械システム工)(92)は2年連続増加の反動で減少、(応用化)(94)はやや減少で、2019年度の学科改組以降初めての減少。
- 農(共同獣医)(150)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加だが、志願者数はわずかに100人に届かなかった。
- 農(共同獣医以外)(93)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少に留まった。学科別では、(地域生態システム)(67)は前年度激増の反動で大幅減少、(生物生産)(92)は前年度大幅増加の反動で減少、(応用生物科学)(99)は微減。一方で、(環境資源科学)(129)は3年連続減少の反動で大幅増加。